

💡 ごみ出しカレンダーを配布します



平成31(2019)年4月1日から、家庭から出されるごみ・資源物の分別と収集スケジュールが一部変更になります。変更点を盛り込んだ来年度のごみ出しカレンダーは、広報なすしおばら3月5日号に併せて各戸配布します。また、次の窓口でも3月5日以降に入手できるほか、市ホームページやごみ分別アプリでも見ることができます。

▶ **配布窓口**
 環境対策課、市民福祉課、総務福祉課、箒根出張所、那須塩原クリーンセンター、各公民館、各図書館、各保健センター

💡 分別と収集スケジュールの変更点は？

4月1日から変更になるごみの分別と収集スケジュールを新旧で比較しました。具体的な収集日や出し方は、ごみ出しカレンダーやごみ分別事典を確認してください。

<p>1 スプレー缶、ライター、ガソリン携行缶など</p> <p>旧 可燃ごみまたは不燃ごみとして収集</p> <p>新 「発火性危険ごみ」として「小型家電」と同じ日に収集 →「可燃ごみ」や「不燃ごみ」として収集できません</p>	<p>2 水銀を使った体温計、血圧計、温度計など</p> <p>旧 不燃ごみとして収集</p> <p>新 拠点回収(現在の蛍光管回収ボックスに出してください) →「不燃ごみ」として収集できません</p>	<p>3 乾電池の収集日</p> <p>旧 不燃ごみまたは小型家電と同じ日に収集</p> <p>新 「小型家電」と同じ日のみ収集 →「不燃ごみ」と同じ日には収集できません</p>	<p>4 古紙と白色トレイの収集日</p> <p>旧 ①新聞紙・段ボール、また、②紙パック・雑誌(白色トレイ)をそれぞれ別の日に収集</p> <p>新 ①段ボール、②白色トレイ、③新聞紙、④紙パック・雑誌をそれぞれ別の日に収集</p>
---	---	---	---

ごみに関する「困った」を解決！ ごみ分別アプリを利用しませんか



いつでもどこでも「ごみ出しカレンダー」「ごみ分別事典」を簡単に確認できるだけでなく、「よくある質問(Q&A)」や「出し忘れ防止アラート」などの便利な機能が満載です。ぜひこの機会に利用してみませんか？

ダウンロードはこちら



Android版



iPhone版

ごみを減らし、資源化に努めよう

問い合わせ 環境対策課 ☎ 0287(62)7301

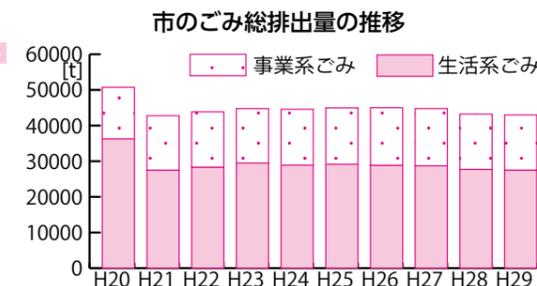
◆ごみの総排出量

ごみは、「生活系ごみ」と「事業系ごみ」に分けられます。生活系ごみは、家庭から出されるごみや資源物、集団資源回収(地域団体などが行う資源物回収)に出される資源物を合わせたものです。事業系ごみは、小売店、飲食店などの事業所から出される産業廃棄物以外のごみのことです。

有料化後「ほぼ」横ばいで推移するごみの総排出量

平成21年度の生活系ごみ処理の有料化により減少し、その後はほぼ横ばいで、平成26年度からはわずかに減少傾向です。内訳は生活系ごみが64%、事業系ごみが36%です。

1年間 **42,983t** ※平成29年度。 **前年度比 0.6%減**



有料化により激減した生活系ごみ

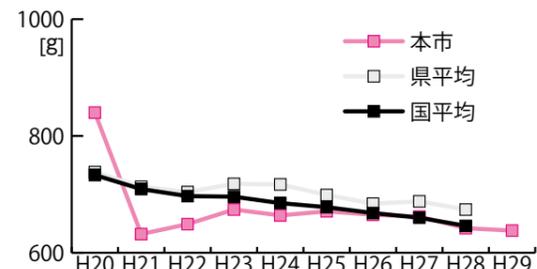
平成21年度の有料化導入により減少し、その後、増加傾向が見られましたが、平成25年度以降はわずかに減少傾向となっています。近年減少傾向にある原因は、民間の資源物回収が増えたことから市が収集する資源物が大幅に減少し、生活系ごみの排出量全体が低下したためと考えています。

1日・1人 **638g** ※平成29年度。 **前年度比 0.6%減**

◆減らない可燃ごみの排出量◆

生活系ごみのうち、可燃ごみの排出量はほぼ横ばいです。
 ※平成29年度。 **1日・1人 496g** **前年度比 0.8%増**

生活系ごみ1人1日当たりのごみ排出量の推移

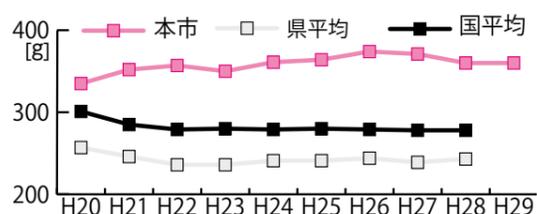


なかなか減らない事業系ごみ

年度により増減はあるものの、平成20年度から長期的に増加傾向で、国県の平均と比較すると、かなり多い状況です。

※平成29年度。 **1日・1人 360g** **前年度比同値**

事業系ごみ1人1日当たりのごみ排出量の推移



低いごみの資源化率

資源化率は、国県と比較し、低い状態が続いています。放射線の影響で焼却灰の資源化が進まないこと、民間の資源物回収が進んだことなどが原因と考えています。

平成29年度 **11.9%** **前年度比 7.0%減**

資源化率の推移

